

声明

日本学術会議第 194 回総会決定を支持し、「日本学術会議法案」の廃案を要求する

日本学術会議は、第 194 回総会（2025 年 4 月 14・15 日）において、3 月 7 日に閣議決定された「日本学術会議法案」について、「声明 次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」を発出し、国会での慎重な審議を求めるとともに法案の手続きと内容についての問題点を指摘した。さらに、同法案がナショナルアカデミーの 5 要件（①学術的に国を代表する機関としての地位、②そのための公的資格の付与、③国家財政支出による安定した財政基盤、④活動面での政府からの独立、⑤会員選考における自主性・独立性）を満たしていないことなどを指摘し、「日本学術会議法案の修正について」を決議した。

名古屋歴史科学研究会は、日本学術会議総会による意思表示を全面的に支持する。

科学者は、自主・自律・自由の確保によってこそ、自国のみならず人類社会の平和的共存という崇高な理想と目的に近づくための責務を果たしうる。私たちは、ナショナルアカデミーとしての日本学術会議が将来にわたって人類社会に貢献するための条件としての独立性を最大限重視し、日本学術会議を事実上解体しようとする「日本学術会議法案」の廃案を求めるものである。

2025 年 5 月 6 日

名古屋歴史科学研究会